

宗像市市民参画等推進審議会 会議録(要点筆記)

日 時	令和7年5月8日(木) 9:00 ～		
場 所	市役所北館 103A 会議室		
委 員	■ 新井佳代子 ■ 片岡俊輔 □ 鎌田隆徳 □ 鈴木邦治 ■ 高山國敏 ■ 種田明美 ■ 水島直子 □ 吉村義廣 ■ 福岡佐知子 ■ 矢野貴士 (五十音順、敬称略)		
事務局	コミュニティ協働推進課(高山課長、濱本係長、西山、綱脇、井上) 元気な島づくり課(丸井係長、立石)		

1. 本日のスケジュール等について

(会長あいさつ)

(審査会のスケジュールについて)

事務局から審査会の流れ等について説明。

2. 市民サービス協働化提案制度

《個別審査》

提案団体 : あかちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ

市担当部署 : 子ども家庭センター

- ・提案事業企画書をもとに提案事業について団体から説明。
- ・担当課意見書をもとに事業や団体の活動状況について説明。

《質疑応答》

- (質疑) 継続していくために、市との連携はあると思うが対象者へ情報を届ける方法を教えてほしい。
- (提案団体) 現在、市担当課の窓口チラシを設置してもらっており、新生児訪問で助産師から案内をしてもらっている。また地域の量販店や小児科に掲示をお願いし、SNSによる発信をしている。
- (質疑) 事業内容を沢山の方に周知してほしい。現在、東郷地区コミュニティ・センターでの開催だが、市と協働で実施する場合東郷地区以外への開催は考えているか。また参加へ向けた情報発信として産前の方へのアプローチは。
- (提案団体) 会場については、6週連続で行っているため同じ会場での開催が望ましい。そのため他で会場確保が出来なかった。市と協働で行うことで会場が確保できるなら、クール毎で違う場所で開催が可能になる。産前の方へのアプローチでは、産婦人科病院にも協力要請をしたが、病院独自の子育て支援をしていたため対応してもらえなかった。産前の方には、市事業「たまご学級」の参加者へ案内をしている。

- (担当課) 団体の事業支援は、具体的に打合せをしていく。産前の方へのアプローチについて、妊娠8ヶ月の方へアンケート実施をしているので、その機会を使って紹介できると思っている。
- (質疑) 人づくりでまちづくり事業補助金を利用して事業が行われ、今回市と協働で行うため事業提案に至った事は大変うれしく思っている。協働で事業を行うことになった際には、利点面など是非参加者からの声も聞かせてほしい。

3. 令和7年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金【みのりコース】審査会

- ①団体名 : あかちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ
事業名 : はじめのはじめのいっぽセミナー
市関連部署 : 子ども家庭センター

団体から申請内容について説明

- (質疑) 「自分らしい子育て」とは、具体的にはどのような定義なのか。
- (提案団体) あかちゃんやママは皆さん違う。他人の真似をするのではなく、あかちゃんにとって一番良いと思える方法を見つけた子育てが自分らしさと思っている。
- (質疑) 宗像市に里帰り出産されている方について、参加できるプランはあるか。
- (提案団体) 現在実施している6回連続の講座に参加可能。全ての講座に参加できない方もいる。また、母親同士の交流の場づくり「フリースペース」も案内をしている。
- (質疑) 講座が終わってからの親子同士の繋がりがあればいいと思う。
- (提案団体) 講座を終えられている親子同士が、今も子育てで支え合って繋っている話を聞いている。私も「いっぽさん」と声をかけられ、その「いっぽ」という言葉で繋がっていることが嬉しい。

- ②団体名 : パパママ応援・ネットワークいろり
事業名 : パパママ・応援ペアレントトレーニング
市関連部署 : 子ども育成課

団体から申請内容について説明

- (質疑) ペアレントトレーニングは小学校と連携しているという事だが、対象は高学年までか。
- (提案団体) ペアレントトレーニングは、小学6年まで想定した保護者向けの家族支援プログラム。小学校の先生向けに、ティーチャートレーニングとしてカリキュラムを変更したものを小学校に提供している。

- (質疑) 所属スタッフは、市内の養育施設で勤務している人で構成されていると聞いている。現在各地域からどのくらいの参加があるのか。
- (担当課) 所属スタッフは、ほぼ市内の養育施設に所属している職員で構成している。いろりへの参加は、市内に限らず近隣の市町村からの参加もある。参加者の制限はない。
- (質疑) 市と協働で事業を実施する場合、どう考えられるか。
- (提案団体) 現在各事業所が休みの日曜に限定して活動している。またスタッフの負担にならないように年間2クールの活動計画としており、スタッフは通常の業務があるため土曜の開催は難しい。

③団体名 : 宗像ロータリークラブ
事業名 : 子ども食堂支援米を食育を通してみんなでつくろう
市関連部署 : 地域教育連携室

団体から申請内容について説明

- (質疑) 宗像ロータリークラブとして、この事業を宗像市の人づくりでまちづくり事業補助金を利用したいと考えた理由についてお聞きしたい。
- (提案団体) 団体で事業資金を準備しているが、用途は子ども食堂へ寄付をするための収穫したお米の買取り費用。市の補助金では、収穫前の田植えを兼ねた食育事業や農業体験を子ども達と行い、農業従事者を交えた交流事業を行うことで申請した。
- (質疑) 既存事業として、農業体験や田植えを行っているとのことだが今回の事業との違いと、SNSやWEBを使ってブランディングをして便益を受けるのは誰になるのか。
- (提案団体) 今回の申請事業は、既存事業の農業体験田植えをより拡大した内容になる。ブランディングすることで次年度以降、協賛企業や協力団体を増やしていき事業の発展、継続へ繋げていきたい。

④団体名 : NPO 自治会運営サポートセンター
事業名 : ピンウオッチシェア事業
市関連部署 : コミュニティ協働推進課

団体から申請内容について説明

- (質疑) どのように情報発信していくのか。
- (提案団体) 自分の住んでいる自治会からスタートしているが、口コミで近隣自治会も事業活動を知ってくれている。今後、地域のコミュニティ運営協議会へ説明を行い協力依頼をしていく。
- (質疑) 自治会ごとに課題が違うと思うが。
- (提案団体) それぞれの課題に着目した内容にしていく。

⑤団体名 : むな猫
事業名 : むな猫さくらねこ事業
市関連部署 : 環境課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 野良猫が増えてきた理由についてお聞きしたい。
- (提案団体) 動物愛護管理法の改正で、猫の殺処分が出来なくなっている。他の地域で活動している動物愛護管理団体では、理由がある飼い猫の処分をしている所はある。
- (質疑) 事業が人づくりやまちづくりに繋がるのが目的となっているが、地域との繋がりについて教えてほしい。
- (提案団体) 活動を知ってもらい協力者を増やすため、自治会で話をする機会もいただいている。地域に根付く活動に発展していきたい。

⑥団体名 : むな猫
事業名 : むな猫人づくり事業
市関連部署 : 環境課

団体から申請内容について説明

質疑意見なし

⑦団体名 : 特定非営利活動法人 猫つくし
事業名 : 高齢者と保護猫の懸け橋に！！
市関連部署 : 環境課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 高齢者と猫とのマッチングについて聞きたい。
- (提案団体) 猫の里親ボランティア制度を知っていただくために、市の福祉関連部署を通して、デイケアサービスや地域包括支援センターと連携をして、ケアマネジャーや民生委員、ヘルパーが担当している高齢者の方へ周知をしていただいている。猫の飼育状況を把握していき、高齢者世帯への里親ボランティアや、保護猫への支援等を行っていく。

3. 令和7年度宗像市元気な島づくり事業補助金申請内容について

- ①団体名 : 地島再発見し隊
事業名 : 地島の魅力再発見事業
市関連部署 : 元気な島づくり課、教育総務課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 伝統継承事業での体験をされているが、参加した子ども達の反応や感想を聞きたい。
- (提案団体) 地島では全児童が8人いる。そのうち5人が漁村留学生。3人の地島の子ども達は例年体験をしているが、特に留学生は沢山の経験を積み重ねていくと地島が好きになっている。故郷への気持ちが深まっている事が伝わってくる。地島の子ども達は沢山の言葉を教師に伝えてくれ、地島が好きな喜びが伝わってくる。

- ②団体名 : 響きあうアート宗像実行委員会
事業名 : 「響きあうアート宗像」
市関連部署 : 元気な島づくり課、文化スポーツ課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 今年は、来年度の第2回開催への準備の年にあたり、今年度は大島の歴史や芸術などを学ぶスタディツアーに38人の募集を予定しているが、募集はどの様にされるのか。
- (提案団体) SNSやチラシ等で周知を行い、今回は宗像市外の方にも来ていただきたいと考えている。

- ③団体名 : 宗像歴史観光ボランティアの会
事業名 : 大島・地島の世界遺産・歴史文化を楽しく広める
市関連部署 : 元気な島づくり課、産業政策課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 昨年度の事業では、地島の休憩場所や食事場所の確保が困難であったそうだが、今年は改善策があるのか聞きたい。
- (提案団体) 現段階では決まっていないが、用意が難しいとの判断になればお弁当の準備または半日開催にするか検討している。

- ④団体名 : 九州産業大学地域共創学部行平ゼミナール
事業名 : 大島・地島！魅力発信プロジェクト
市関連部署 : 元気な島づくり課、産業政策課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 大島、地島の魅力発信について、SNS が普及している中、紙媒体であるパンフレット作成をしている理由はあるか。
- (提案団体) パンフレットを作成しているのは、大島には電波が繋がりにくい圏外エリアが複数箇所あり、心配もなく活用していただくため SNS については大島、地島に来ていただく事への媒体として考えていきたい。
- (質疑) 大島、地島の団体とのコラボレーション等の計画はあるのか。
- (提案団体) 学生が単年度で入れ変わるため島内の観光団体とのコラボレーションは行っていない。元気な島づくり課を窓口としてヒアリングを行い、単年度で事業を行っている。ただ、学生の活動をより高めるために連携していくことも考えていきたい。

- ⑤団体名 : むなかた大島浜辺らば
- 事業名 : むなかた大島浜辺らばスタートアップ事業
- 市関連部署 : 元気な島づくり課、産業政策課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 京都市で開催する「手づくり市」に施設見学会に行く予定だが、商品化していくにあたって、京都市で販売をしていくのか。
- (提案団体) 京都市で展開する予定はないが、視察場所に京都市を選んだ理由は、手作り市が非常に多く京都市を参考にしたいと思ったため。今年は、福岡市でもワークショップを計画。将来的には販売も視野にいていきたい。

- ⑥団体名 : 宗像市立大島学園PTA
- 事業名 : 大島ふるさと愛ワクワクプロジェクト
- 市関連部署 : 元気な島づくり課、教育総務課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 事業5年目となるが、子どもの姿に変化はあったのか。
- (提案団体) 大島学園は「豊かな表現力を身につけた子どもの育成」を重点目標として教育活動をしている。この5年間で表現力が確実に向上した。表現の場を増やし積極的に発表することで慣れてきている。イベントでは販売の手伝いで呼び込みをし、勉強したことを伝えて商品を購入してもらうことで、表現の力が向上していると実感している。

- ⑦団体名 : むなかた大島波波クラブ
事業名 : むなかた大島波波クラブ（学童保育）
市関連部署 : 元気な島づくり課、子ども育成課

団体から申請内容について説明

- （質疑） 民間が運営することと、地域が運営することでは充実感が違うと思う。
是非頑張ってほしい。
- （質疑） 会場は大島コミュニティ・センターだが、大島東区青年会場は何に使用するのか。
- （提案団体） 大島コミュニティ・センターは毎週月曜日が休館日となっている。月曜日に、大島東区青年会場の使用を予定している。
- （質疑） 傷害保険の加入については。
- （提案団体） 大島コミュニティ・センターが加入している公民館総合補償制度を利用することを確認している。

4. 検討会（総合審査）

非公開

5. その他

なし

～ 閉会 ～